

## 2年理数科が英語ポスター発表会を実施 企業研修・筑波研修の成果を発表

12月14日（水）水沢高校の大会議室で、2年生理数科が英語ポスター発表会を実施しました。英語ポスター発表会は平成25年度から実施しており、今年で4回目です。これまでは2年生理数科の生徒が行った企業研修の事後学習として、研修内容を英語ポスターにまとめて発表していました。本年度は企業研修で訪問した6社のほかに、夏休みの筑波研修で見学した4つの研究機関を加えて、合計10の企業や研究機関の概要や製品等を英語のポスターにまとめて、英語で発表し、英語でディスカッションしました。また英語ポスター発表会には岩手大学教育学部の山崎友子教授や外国人留学生、大学院生等の学生が指導助言者として参加したほか、企業研修で訪問した企業関係者らが参加しました。



クイズなど Show & Tell を活用し  
より楽しめる発表になるよう工夫しました



岩手大学教育学部 山崎友子教授や  
外国人留学生等に指導助言をしてもらいました

岩手大学の山崎友子教授からは、「毎年、英語ポスター発表会に参加しているが、昨年度よりもグレードアップして、特に質問に対して英語で議論する力が向上しているのが分かった。原稿なしで暗記して発表し、SHOW & TELL などの対面的なコミュニケーションを上手に活用して、協力しながら行っていたのは素晴らしかった。ジョークを交えてプレゼンする者もいて驚いた。次回は質問を予測し、それに対する答弁も考えておくと、よりプレゼンの質疑がスムーズになる。」と講評を頂きました。

また、企業の方々からは次のようなことをアドバイスしてもらいました。

- ・ もっと製品（研究）への知識が必要だ。知識と準備がなくて答弁できないという悪循環にならないように頑張してほしい。
- ・ 正しい発音、適切な音量で発表するとより相手に伝わりやすい発表になる。
- ・ 企業において、技術者はますます英語が必要な環境になってきている。これからもどんどん勉強してグローバルエンジニアを目指して欲しい。

2年生理数科の生徒は、平成29年1月20日に今年度取り組んできた課題研究の成果を口頭発表します。そして平成29年5月1日に課題研究の成果を英語で発表します。今回の経験が課題研究英語発表会につながると期待します。

## 発表した生徒の感想

- ポスターセッションでは原稿を話すことにいっぱいいっばいで、あまり相手の目を見て話すことが出来なかった。次の機会では改善していきたい。また、準備の段階では原稿を暗記するのに大変だったが、質問を理解して適切な答えを返すことはもっと大変だった。練習をすればするほど落ち着いて発表することが出来たので、改めて練習の大切さを理解した。
- たくさん練習を重ねたおかげで、スムーズに発表できた。しかし、会社の知識が足りず質問に答えられないところがあったので、自分が発表することについての知識はしっかり身につけてから発表するようにしたい。また、発表者の表情や話し方で聞き手の姿勢も変わるものだと身をもって感じた。
- 練習の時に言えたことが、本番で外国人を前にすると詰まってしまった。完璧な英文でなくとも、とにかく伝えようとする姿勢が大事だということを学んだ。また、英語で伝えるというのはやっぱり難しかった。この英文で伝わっているかと不安だったが、頷きながら聞いてくれて安心した。アイコンタクトを取りながら、相手に伝わっているかを確認しながら発表することも大事だと思った。
- 英語は暗記できたので、発表中はほとんど緊張せず、アイコンタクトを取りながら発表できたと思う。質問でも簡単な英語で話して下さったので、内容は理解出来た。聞き取ることができて話す力が不十分だとすごく感じた。英語で発表して、英語で質問に答えるというなかなか出来ない体験ができて本当に良かった。

# Sahara public Company



小さな開発で明日を開く  
**株式会社 佐原**

Endo Saki, Kawazi Kohei  
Chiba Megumi, Hiraoka Ryo  
Iwate Prefectural Mizusawa High School  
Science an Mathmatic course



### Introduction

**Name of company:** Sahara Company  
**Project:** Ventilating devices, Glass crafts  
**Place:** Ichinoseki  
**Business connections:** Skisui House Company, LIXIL, YKK AP, and so on...



Figure1. <http://sahara-s.co.jp/access/images/mainimg.jpg>

### Background

1956	• Sahara Glasshouse was opened
1967	• Sahara Glasshouse company was established
1990	• Study and development on shape memory alloy started
1993	• Sahara glass park and glass industrial hall opened
2004	• changed company's name to Sahara company

### About a product

【Kaiteki Otokanki】




Figure2. [http://sahara-s.co.jp/upload/phi1\\_1453884309.jpg](http://sahara-s.co.jp/upload/phi1_1453884309.jpg)

### 【Knurl Stained Glass】



Figure3. [http://sahara-s.co.jp/upload/phi1\\_1164154240.jpg](http://sahara-s.co.jp/upload/phi1_1164154240.jpg)

### Interesting facts

Surprisingly, Sahara is working with JAXA on business !



### Summary

- ◆ Sahara company contributes to the society with ventilation technology using the shape-memory alloy.
- ◆ Various environment - friendly products have been produced and sold.



### Impression

Through this study tour, we were deeply moved by the fact that there are local companies that boast of world-class technology . We also want to become an engineer who can play an active role in the world!



### Acknowledgments

We would like to thank Sahara company for their time.

### References

<http://sahara-s.co.jp/about/gaiyo.html>